

特別講演

標準物質の国際活動を主導する以下の方々に、標準物質に関する最新動向についてご講演いただきます。

- CCQM activities on metrology in chemistry
R. Kaarls (国際度量衡委員会(CIPM)事務局長、同物質量諮問委員会(CCQM)委員長)
- International comparisons in support of the equivalence of chemical measurements
R. Wielgosz (国際度量衡局(BIPM)化学部長)
- New challenges for reference materials in the Omics era
A.Herrero (欧州標準物質・計測研究所(IRMM)所長)

招待講演

標準物質や関連分野でご活躍される方々による招待講演を予定しています。主な講演者は次の通りです。

- J. Betz (米国国立衛生研究所(NIH))
- H. Emons (標準物質委員会(REMCO)、欧州標準物質・計測研究所(IRMM))
- A. Fajgelj (国際原子力機関(IAEA))
- 古田 直紀 (中央大学)
- 原口 紘丞 (名古屋大学)
- I. Kuselman (分析化学における国際トレーサビリティ協力機構(CITAC))
- R. Manning (米国薬局方(USP))
- Y. Mitani (メキシコ国立計量センター(CENAM))
- S.-R. Park (韓国国立標準科学研究所(KRISS))
- D. Patterson (米国疾病対策予防センター(CDC))
- M. Salit (米国標準技術研究所(NIST))
- L. Sander (米国標準技術研究所(NIST))
- G. Turk (米国標準技術研究所(NIST))
- S. Wise (米国標準技術研究所(NIST))
- W. Wolf (米国農務省(USDA))
- S. Wood (英国化学者研究所(LGC))

このほかにも多数の招待講演を予定しています。詳細はホームページでお知らせします。

お問い合わせ

お問い合わせは下記までお願いします。

〒305-8563 茨城県つくば市梅園 1-1-1 中央第3
独立行政法人 産業技術総合研究所 計測標準研究部門
BERM 11 事務局長 千葉 光一
Tel/Fax : 029-861-4100
E-mail : berm11@m.aist.go.jp

学術委員会

- 岡本 研作 (産総研計量標準総合センター)、委員長
- L. Besley (NMI(豪))
- J. Betz (NIH (米))
- C. Chainarong (NIMT(タイ))
- 千葉 光一 (産総研計量標準総合センター)
- H. Emons (REMOCO, IRMM(欧))
- A. Fajgelj (IAEA(オーストリア))
- 古田 直紀 (中央大学)
- 原口 紘丞 (名古屋大学・日本分析化学会)
- 久保田 正明 (標準物質協議会)
- A. Lamberty (IRMM(欧))
- R. Manning (USP(米))
- Y. Mitani (CENAM(メキシコ))
- U. Panne (BAM(独))
- D. Patterson (CDC(米))
- V. Poncano (ITR(ブラジル))
- L. Samuel (MSL(ニュージーランド))
- H.-Y. So (KRISS(韓))
- 田中 充 (産総研計量標準総合センター)
- G. Turk (NIST(米))
- S. Willie (NRCC(加))
- S. Wise (NIST(米))
- W. Wolf (USDA(米))
- S. Wood (LGC(英))
- Y. Yadong (NIM(中))

主催・協賛

主催

産業技術総合研究所(AIST) 計量標準総合センター(NMIJ)

共催

化学・バイオつくば財団

協賛

日本化学会
日本分析化学会
日本環境測定分析協会
日本臨床検査薬協会
日本分析機器工業会
標準物質協議会
日本臨床検査標準協議会
ブラズマ分光分析研究会
AOACインターナショナル日本セクション
(予定を含みます)

SECOND CIRCULAR



第11回 生物・環境標準物質に関する 国際シンポジウム

11th International Symposium on Biological and Environmental Reference Materials

(BERM 11)

2007年10月29日(月)~11月2日(金)

つくば国際会議場(エポカルつくば)



開催の趣旨

International Symposium on Biological and Environmental Reference Materials (BERM) は、生物・環境標準物質に関して、最新の開発状況、標準物質の適切な使用法、標準物質と QA/QC・試験所認定・技能試験、関連する教育・訓練等、標準物質全般を討論主題とする唯一の国際シンポジウムです。1983年に第1回BERMが米国Philadelphiaで開催され、これまで2～3年毎に欧米で交互に開催されてきました。近年、アジア経済圏においても標準物質に対する需要が急速に高まっており、日本や韓国、中国において標準物質の開発が活発に進められています。こうした背景から、アジア地域では初めて日本でBERM11を開催することになりました。

シンポジウムトピックス

◇ 標準物質開発・供給

- 標準物質開発の最新動向
- 生物標準物質
- 環境標準物質
- 臨床化学標準物質
- 食品標準物質
- RoHS 指令対応標準物質
- 地球温暖化ガス標準
- 海洋関連標準物質
- アジア地域における標準物質の共同開発

◇ 分析精度管理への標準物質の利用

- 技能試験
- 内部精度管理
- 外部精度管理
- 試験所認定
- 測定の不確かさ評価

◇ 分析技術の開発

- 値付けのための分析技術
- 分析法の開発・評価への標準物質の利用

使用言語

英語。
特別講演と招待講演は日本語への同時通訳を予定しています。

主な期日

2007年 4月15日 ～6月15日	講演募集(講演要旨受付)
2007年 7月31日	講演採択決定
2007年 8月31日	オンライン登録(早期割引登録)終了
2007年10月29日 ～11月2日	BERM 11シンポジウム

シンポジウムスケジュール

10月29日	登録、レセプション
10月30日 ～11月1日	特別講演、基調講演、一般講演(口頭発表・ポスター発表)、製品展示、懇親会(10月31日)
11月2日	ラボツアー、エクスカージョン

会場・交通アクセス

◇ 会場

つくば国際会議場(エポカルつくば)
茨城県つくば市竹園 2-20-3 (<http://www.epochal.or.jp/>)
つくばエクスプレスつくば駅・つくばセンターバスターミナルから徒歩約10分

◇ つくばへの交通アクセス

- 秋葉原駅から:つくばエクスプレス(快速)でつくば駅まで約45分
- 東京駅(八重洲南口)から:高速バス(つくば号)でつくばセンターまで約65分
- 羽田空港から:高速バスでつくばセンターまで約80分



講演募集

一般講演(口頭発表及びポスター発表)を募集します。
6月15日までに講演要旨をお送りください。
講演要旨の作成要項はホームページでお知らせしています。

講演要旨送付締め切り : 2007年6月15日

BERM 11 特集号

Analytical and Bioanalytical Chemistry と *Accreditation and Quality Assurance* では、BERM 11 の特集号を編集することになりました。シンポジウムで発表された講演を、特集号に投稿することができます。

展示

標準物質関連会社・機関からのブース出展を募集します。詳しくは事務局へお問い合わせください

参加登録

ウェブ上での参加登録(早期割引登録)は2007年6月に開始予定です。詳細はホームページでお知らせします。

参加登録*1	(2007年8月31日以前)	42,000 円
	(2007年9月1日以降)	50,000 円
同伴者登録*2	5,000 円	
懇親会	8,000 円	

*1 参加登録料は、要旨集、BERM 11 特集号、レセプション、ラボツアー及びエクスカージョン費用を含みます。懇親会費は別途必要です。昼食は各自お願いします。

*2 同伴者登録料は、レセプション、ラボツアーおよびエクスカージョン費用を含みます。

最新情報

BERM 11 に関する最新情報は次のページでお知らせします。

www.nmij.jp/berm11/